

時間的な心

オーガナイザー

太田紘史（新潟大学）

提題者

伊佐敷隆弘（日本大学）

中山康雄（大阪大学）

信原幸弘（東京大学）

想起経験、知覚経験、予期経験など、時間意識における各種の心的状態において、時間性は心に対して特有の関わり方をしており、この事実は様々な興味深い問題をもたらす。時間性の主観的な現れ方をどのように特徴づけることができ、またその多様性をどのように分類することができるか。時間意識はどのように構造化されており、またどのような心理機能や心理能力がそれに関与しているのか。

今回のワークショップでは、「時間的な心」をめぐる哲学的かつ心理学的な本性を探るべく、時間意識とその様々な形態にまつわる問題をとりあげることにする。

伊佐敷は、「出来事カテゴリーと時間意識」と題した報告を行う。人間の成人が有するような十全な時間意識と、幼児や動物が有するような時間意識の違いとは、どのようなものか。本提題では、「出来事カテゴリー」および「距離的時間枠組みと位置的時間枠組みの区別」の観点から、この問いに取り組む。

中山は、「時間経験と知覚の能動性」と題した報告を行う。時間経験に関する認知科学・心理学・脳科学的知見も参照しながら、とくに、知覚の能動性——行為主体にとっての有意義性——に着目した形で、時間経験の哲学分析を展開する。

信原は、「心的時間旅行と情動」と題した報告を行う。過去や未来を心的な意味で訪れること、すなわち心的時間旅行には、どのような心理能力が関与するのか。各種の記憶だけでなく、物語や情動などの関与についても考察を図る。